

経営理念

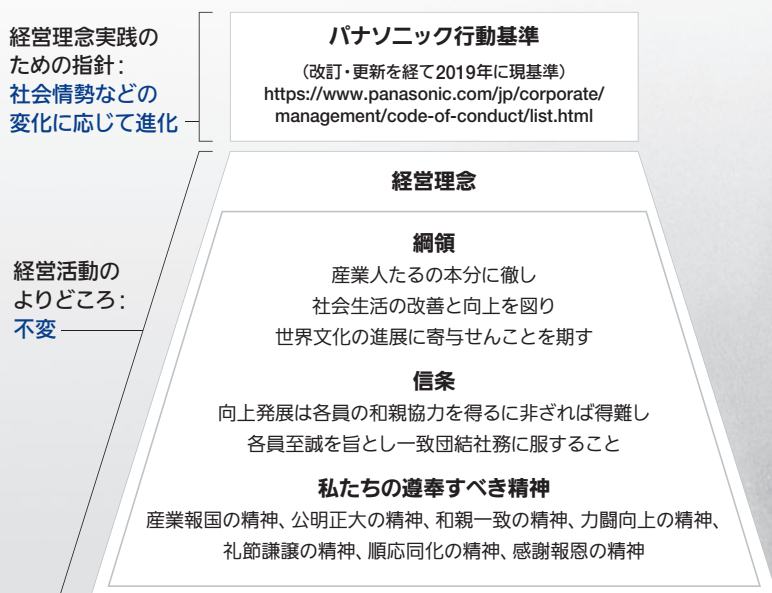
経営理念に立脚し、より良いくらし、より良い世界の実現に貢献

私たちの使命は、生産・販売活動を通じて社会生活の改善と向上を図り、世界文化の進展に寄与すること——。「綱領」は、パナソニックの事業の目的とその存在の理由を簡潔に示したものであり、「経営理念」の根幹として、これまであらゆる経営活動のよりどころとしてきました。海外事業展開にあたって、その国の発展のお役に立ち、喜んでいただけることを第一義としてきました。

2015年に国連において、「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、国際社会では、社会課題解決の担い手として企業への期待が高まっています。

今後もパナソニックは、経営理念に基づいて、社会の課題解決と発展に貢献し続け、新しい未来を切り拓いていきます。そして、持続的な成長と企業価値の向上を実現していきます。

パナソニックの経営理念体系



私たちの歩み

1918年 松下電器器具製作所(現在のパナソニック)を設立。初の製品となる「アタッチメントプラグ」と「2灯用差し込みプラグ」を発売。

1927年 **国民の必需品**となることを願って「ナショナルランプ」と名づけた角型ランプを発売。安全な光源として日本全国に普及。**①**

1931年 ラジオ販売を開始。**故障しないラジオ**として喜ばれ、家庭に情報と文化を届けた。**②**

1932年 貿易部を設置し、**輸出事業を開始**。

1950年代 洗濯機、白黒テレビ、冷蔵庫など、**家事負担の軽減**とゆとりある生活を実現する製品を次々と発売。**③**

1961年 **海外初の生産拠点**として「ナショナル・タイ」を設立。以降も外貨不足で家電輸入が困難な国々に生産拠点を設立。**④**

1965年 週休2日制を他社に先駆けて開始。「一日教養、一日休養」というスローガンのもと、従業員の**能率と勤労意欲の向上**に大きな役割を果たした。

1987年 **中国の近代化**に向けて、北京市との合併でカラーブラウン管製造会社を設立。同社は、中国において、当社の合併会社第一号であった。**⑤**

1988年 スポーツを通じた**世界平和**の実現。オリンピックが掲げるこの理念に賛同し、カルガリー 1988冬季オリンピック以来、「TOP(最高位スポンサー)」として、30年以上、大会をサポート。**⑥**

2008年 **真のグローバル企業**を目指し、社名を「パナソニック株式会社」に変更、ブランドを全世界で「パナソニック」に統一。

2010年 ハイブリッド自動車用のリチウムイオン電池の量産を開始。**環境対応車の普及**に貢献。**⑦**

2014年 「Fujisawa サステイナブル・スマートタウン」が街びらき。**エコで快適、安全・安心**な暮らしを実現。**⑧**

2018年 **創業100周年**を迎え、**当社の目指す方向性として『くらしアップデート※』**を発信。

※ [CEOメッセージの『くらしアップデート』の実現に向けて](#)をご参照ください。

